

あらゆるものが相互接続された世界

メタバースとは、一般にデジタル上の仮想空間や関連サービスなどを指しますが、本来はデジタルやリアルを問わず、あらゆるものが相互接続された世界を表します。メタバースはコロナ禍の際に大きな関心を集めた後、2022年をピークに注目度が低下したと言われます。しかし、実際には一部のサービスが淘汰された一方で、生活や産業に革新をもたらすプラットフォームとして徐々に進化・定着しつつあります。そして、足元では新たな成長への期待が高まりつつあります。

複数の技術革新がメタバースに進化をもたらす

メタバースを支える中核技術として、まずはVR(仮想現実)/AR(拡張現実)が挙げられます。近年、関連デバイスの進化は目覚ましく、軽量化・高解像度化が進んだことで、没入体験の質が飛躍的に向上しています。さらに、触覚を再現するハプティクス技術や匂いを再現する嗅覚デバイスなどの研究も実用化に向かっており、「五感VR」の登場も期待されています。

AI(人工知能)もメタバースの構築に不可欠です。自律型キャラクターの知能化や自動翻訳、ユーザー行動データの分析などその役割は多岐にわたり、AIの発展はユーザー体験をより自然でパーソナライズされたものへと進化させています。また、生成AIの登場で仮想空間内のオブジェクト作成やゲームのシナリオ生成も容易になり、メタバースの開発効率も飛躍的に向上しています。

さらには、大容量・低遅延の高速通信ネットワーク、5Gの普及によってメタバースの多数同時接続が支えられ

メタバースのビジネスへの応用例

分野	応用例
教育・訓練	・不登校の子どもへの支援に向けたメタバース学校 ・人体の精密3Dモデルを使用した解剖授業 ・仮想工事現場での重機操作や除雪作業の訓練
医療・ヘルスケア	・遠隔医療、リハビリ、メンタルヘルス支援など ・仮想空間上での希少疾患患者同士の交流
製造業・建設業	・工場や建設現場などをデジタルで再現し、シミュレーションやトレーニング、データ解析などを行なう(デジタルツイン)
広告・マーケティング	・ゲームなどの仮想空間上にバーチャル店舗を開設し、ブランド体験の提供やプロモーションを行なう
自治体・行政サービス	・バーチャルハローワークの構築 ・メタバース区役所、メタバース婚活などの運営

各種報道など信頼できると判断した情報をもとに
アモーヴァ・アセットマネジメントが作成

●上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ているほか、ブロックチェーン技術の進化はメタバース内での安全なデジタル資産の取引や所有権の確立を可能にしています。

このように、様々な技術革新が融合することでメタバースの進化が加速しています。そして世界のテクノロジー企業による大規模な投資の継続や、スタートアップ企業の新規参入などにより、これらのイノベーションは今後も促進される見込みです。

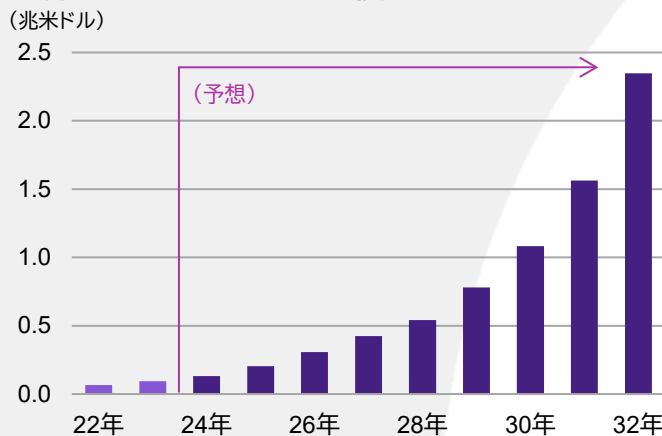
大きく広がるビジネス活用

かつてはエンターテインメント分野での活用が目立ったメタバースですが、近年はビジネスでも様々な応用が進んでいます(左下表)。これらは単なる「リアルの代替品」ではなく、仮想空間であることのメリットを活かし、コストやリスク、物理的な制約を乗り越える有効な手段の一つとされています。このように、今やメタバースは社会インフラの一部へと進化しつつあります。

世界的な成長可能性が高い分野の一つ

世界中で活用が進むメタバースですが、日本ではデジタル技術への対応の遅れなどからメタバースに対する意識が低く、活用事例や知名度は諸外国に大きく後れを取っています。それでも独自の強みを活かした事例は現在も複数進行しており、国内市場規模は2028年に1.8兆円を超えるとの試算もあります。一方でグローバル市場は2030年に1兆米ドルを超えた後、わずか2年で倍増するとの予測もあり(右下グラフ)、世界規模での将来性が高い分野であると考えられます。こうした勢いに乗り遅れないよう、新たな視点で今後のメタバースに注目してみてはいかがでしょうか。

世界のメタバース市場規模 (2022年～2032年予想)



＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込むなどのリスクがあります。■リスク性商品中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行本支店等の各商品の説明書等を必ずご覧ください。



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会